

下肢静脈瘤について

心臓血管外科部長 大島 祐

医学博士
心臓血管外科専門医
日本外科学会専門医
腹部ステントグラフト指導医
胸部ステントグラフト実施医

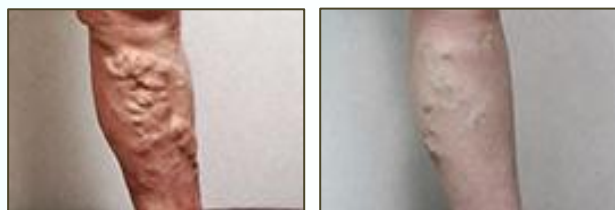


「立ち仕事が長く、出産を契機に足の血管が“数珠”のようにボコボコに。いつからそうなったか定かでなく、特に調子が悪いわけでもないし。いまさらわざわざ主治医に相談するのもなあ。特に困ってないし、まあいいか。そのうち、そのうち…」

こんな風に放置しておいで患者様は意外と多くいらっしゃるのではないのでしょうか？

「どうやら、私の足は“下肢静脈瘤”らしいけど、主治医の先生からどこか専門医に紹介していただけないだろうか？」

このような患者様のご要望はございませんか？



呉共済病院 心臓血管外科専門医に相談！！

下肢静脈瘤の治療も時代と共に刻々と変化、改善されています。以前は下半身麻酔で1週間ほど入院して、という手術を行っていたり、日帰りで硬化療法してみたり。

下肢静脈瘤の成因は様々で、症状も多彩です。比較的単純な治療で容易に軽快される病態から比較的重症な方まで、病態によってまたご本人のご希望によって適切な治療法を採用することになります。

現代の専門医療は変化が速く、下肢静脈瘤治療の御経験が乏しい場合に患者様への病態生理や治療法などのご説明は先生方のご多忙な日常診療を圧迫するのではないのでしょうか？「一度専門の先生の話聞いてみんさい」と患者様を当科へお気軽に送り出していただければ、誠心誠意対応させていただきますので是非よろしくお願い致します。

